

令和7年2月（第2回）光市教育委員会会議の要旨

1 開催日時

令和7年2月6日（木） 午後2時45分～午後4時30分

2 場 所

教育委員会事務局 1階ホール

3 出席者

伊藤教育長、寺崎委員、平岡委員、武田委員、岩佐委員

4 事務局

教育委員会事務局：升教育部長、加川教育部次長兼教育総務課長、吉永ひかり学園推進課長、原田学校教育課長兼部活動改革推進室長、田中学校教育課主幹、国広文化・社会教育課長兼人権教育課長、三好スポーツ推進課長、眞嶋図書館長、高橋学校給食センター所長、秋友教育総務課経理係長、松永教育総務課管理係長、桑原ひかり学園推進課ひかり学園推進係長、宮本部活動改革推進室部活動改革推進係長、岡本学校教育課学務係長、海老本文化・社会教育課社会教育係長、山下文化・社会教育課文化振興係長兼部活動改革推進室文化芸術担当係長、石飛人権教育課人権教育係長、小田スポーツ推進課スポーツ推進係長兼部活動改革推進室スポーツ担当係長、川村図書館業務係長

5 教育長報告

（1）令和6年度教育委員の先進地視察研修について

6 議 事

（1）議案及び報告

ア 議案第2号 令和7年度光市一般会計教育費関係予算案について

（ア）概 要

令和7年度光市一般会計教育費関係予算案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条及び教育長に対する事務委任等に関する規則第2条の規定に基づき教育委員会の意見を求めるため、本案を提出。

（イ）内 容

令和7年度光市一般会計教育費関係予算案について、各課より説明。

（ウ）主な意見等

① 意 見

浅江中学校移転改修事業で周辺環境整備事業とあるが、道路側斜面に草木がかなり茂っている中、マルチシートを設置するなどの手法も考えられるが、浅江中学校においてはこういった対策を予定しているのか。

回 答

旧光丘高校の法面は面積も広く、今後の維持管理の方法は現在検討しているところ。例えば、中学校の用務員が対応するなど考えられるが、令和7年度においては周辺環境整備事業の中で、草刈を実施する予定。委員ご提案のマルチシート等も含め、引き続き来年度中に検討したい。

② 意 見

スクールカウンセラー派遣事業について、年間50回の派遣とあるが、どのような状況で臨床心理士の派遣につながるケースが多いのか教えていただきたい。

回 答

スクールカウンセラーを年間50回というのは、県の配置基準とは別に市単独で配置したカウンセラーの派遣回数であり、各中学校区で回数を配分し、計画的に派遣していく仕組みを整えている。

意 見

学校からの依頼によるということであれば、担任や関わりのある先生がこどもの様子を見ながら調整するということか。

回 答

特別に市から派遣するケースは、担任や生徒指導の先生等から発生した事案によって、教育委員会に相談いただく中で派遣するケースもある。

③ 意 見

教員の業務負担軽減事業について、大和小学校及び浅江中学校に教員業務支援員を配置するとあるが、これは1名ずつ配置するということか、また、どういった業務内容になるのか。

回 答

小中あわせて1名の配置となる。

意 見

普段はどこで業務するのか。

回 答

具体的にはこれからの調整となるが、2校の状況を見ながら検討してまいりたい。また、教員業務支援員は国の事業であり、費用は国庫補助と市費で賄うものとなり、基本的には教員のサポートを目的として配置するもので、例えば、プリントの印刷や授業の準備をサポートすることが業務となる。

回 答

1日4時間勤務の非常勤職員で、特に大和小は1小に再編され、校内の物の整理などの作業が、浅江中は来年度、旧光丘高校に移転予定で、やはり校内で引越

しにむけた作業が生じることとなる。大和小と浅江中で配分しながら支援員にそういった業務を任せ、教員が教育に必要な時間をしっかり確保したいと考えている。

意 見

大和小がまずスタートし浅江中がその後となると、まずは大和小学校に配置したほうがスムーズではないか。できれば各校に1人配置したほうがよいが、来年度は1人で2校に対応する予定ということか。

回 答

各校の都合を聞きながら、1日単位でどちらの学校に行くのか決めて勤務することを想定している。

意 見

今後、市内で施設一体型小中一貫教育の取組が進んでいく中、最初の取組である大和でどんな課題が生じたかという記録をしっかりと残し、次の取組に活かしていくことが重要である。

④ 意 見

文化財保護事業で、文化財となった虹ヶ浜菊に看板を設置するとのことだが、どのような看板になるのか。また、市内外への周知を目的としている中、潮音寺山の入口に設置するのは何故か。例えば、浅江小正門前等、群生する箇所に設置するなど、潮音寺山全体に咲いているわけではなく、入口に咲いているという状況もあることから、そのあたりをわかりやすい看板にしたらよいのではないか。

回 答

設置する看板は、文化財の形式に基づいた形式となる。設置場所は、虹ヶ浜菊の定植地として指定された潮音寺山の入口とするもの。市内外の方に来ていただけるよう周知していきたい。

意 見

周知を図りながら、設置後の状況を確認し、状況に応じて今後の対応をご検討いただきたい。

⑤ 意 見

文化財保護事業で、戦後80年の節目に平和の大切さを考えるとあるが、企画展以外に講演会等の開催は検討しているのか。以前、文化センターで無言館の館長の講演を聞いたことがある。周南市にご縁のある方の作品が無言館にあるということであった。

回 答

地方史研究会の方の講演会開催に向けて調整を進めているところ。

⑥ 意 見

周防の森ロッジ施設機能強化事業で、緊急防災・減債事業債で対応するとあるが、簡単な内容を教えていただきたい。

回 答

緊急防災・減債事業債は、災害時に対応するための施設整備に対する事業債で、事業費の 100%に充当できることから活用したいと考えている。

⑦ 意 見

弓道場整備事業について、施設南側地面状況でイノシシによる掘り返しとあるが、イノシシは 1 度来ると毎年のように現れるようになる。柵を設置して入れないようにするしかないと思うが、どのように対応する予定か。

回 答

学校側と弓道場を区切る柵を設置し、イノシシ等が入れないようにする予定。

意 見

現状は柵を設置していないということか。

回 答

現在は柵が劣化しており、隙間から入ってきているような状況。

(エ) 議 決

全員一致で承認される。

イ 議案第 3 号 施設一体型小中一貫やまと学園施設整備基本設計について

(ア) 概 要

施設一体型小中一貫やまと学園施設整備基本計画設計について、事務局より説明。

(イ) 内 容

概要のとおり。

(ウ) 主な意見等

① 意 見

グラウンドの配置図で、サッカーコートの配置が敷地ぎりぎりのように見えるが、安全面は確保されているのか。

回 答

サッカーコートの一部が自転車専用道路と被るように見えるが、実際の距離はかなりある。敷地内の配置については、これから詳細の部分を検討する中でしっかりと安全面も確保したい。

意 見

グラウンドについて、ソフトボールができるようになっているが、こどもがソ

フトボールをするイメージがないが、なぜ野球ではなくソフトボールなのか。また、ソフトボールでもピッチャーマウンドは盛り上げる必要があるがどうするのか。

回 答

ソフトボールは、中学校の授業で実施することとなる。また、野球については、部活動の地域移行で、現在は大和中に軟式野球部があるが、新しいグラウンドでは野球をすることを想定していない。実際には、敷地の広さからすると野球でいうレフト側の敷地が狭いということになる。

確かにマウンド付近は盛り上げがあり、図面上は 200 メートルトラックと重なるため、いただいた意見を踏まえ安全に実施できるよう対応したい。

意 見

学校のグラウンドということを考えると、ピッチャーマウンドの盛り上げは安全面をよく考慮してご対応いただきたい。

② 意 見

学校の遊具が少なくなっているが、遊具の配置基準等があれば教えていただきたい。

回 答

遊具については、光市として学校に配置する遊具の考え方を整理しており、のぼり棒、ブランコ、うんてい、ジャングルジム、滑り台の 5 種類を配置することとしている。このうち、低学年のプレイエリアに滑り台、ブランコ、ジャングルジムを配置し、それ以外は、図面上、倉庫の近くに配置することとなっているが、詳細は安全面等から再検討したい。

意 見

ソフトボールコートは、打ったらボールが校舎に向かってくるよう配置されているが、配置の再検討の中で安全面を考慮していただきたい。

③ 意 見

先進地視察の際、廊下から教室が見えるようわざとガラス張りであったり、逆に見えないような工夫があったりしたが、やまと学園においてはどうか。

回 答

普通教室周辺で言えば、確定しているわけではないが、府中のように普通教室とオープンスペースの間仕切りを可動式にするかどうか、これは学年によっても変わるが、実施設計の中で詳細を詰めていく予定である。

摺りガラスか透明ガラスかという点は、教室によっては活動を見える化することで施設の活性化を図るという視点もあり、学年あるいは教室によって見せ方を

変えていくという点をお示ししたい。

意 見

視察でお話を伺うと、何年か経つと当初計画していた用途とは異なる目的で使用する設備もあるとの意見があったが、多様な用途に対応できるような設備のあり方という点では何か考えているのか。

回 答

多目的室など多様な用途で利用できる部屋を、ある程度用意している。やまと学園は原則1学年1クラスとなるが、一時的に2クラスとなる可能性がある学年もあり、そういった場合にも柔軟に対応できるような造りとしているところ。

④ 意 見

サンホームの入口は地域住民等用玄関になるのか。

回 答

図面ではわかりづらいが、直接サンホームから出入りできる玄関もある。同様に、学校運営協議会やPTAの方が利用されるCSルームについても直接出入りできる玄関を設ける予定としている。

(エ) 議 決

全員一致で承認される。

ウ 報告第6号 区域外就学の承認について

(ア) 概 要

区域外就学の承認について、事務局より説明。

(イ) 内 容

区域外就学の協議及び申請のあった1名を承認したことについて報告するもの。